

# 磐城時報

編輯人 岡田弘成  
印刷所 加納活版所  
印刷部 加納活版所  
電話 一四七五  
代印 所 磐城時報社  
一ヶ月金拾陸圓  
三ヶ月金四拾陸圓  
半年金八拾陸圓  
一年金一拾陸圓  
廣告料一行十四字諸金五拾錢  
▲日刊(日曜祭日)休刊

## 平警察署跡の敷地 解決促進方の陳情

平町元平署跡三百七十坪の敷地は、報の如く縣會の問題となつて右土地を賣却して白河警察署を改築する案は通過したが、幾度か賣却問題につき地元平町は勿論附近の町民は交通事故の上から支障を來し處分を促し、今以てその解決を見るに困難で當局でも不況の折柄何とも手の下し様なく結局起債して町で買入事になつたが、縣ではこれを承認せず、ない袖は振れないと依然として三角形の空地は子供の遊び場所となつてをり最近町會議員一部にはこれが解決方を高調してゐるので近く町當局に再度の解決促進方を陳情することになつた。

## 山下課長が 助役排斥

そんな事はあるまい 遠藤助役(談)  
平町水道課長山下尚慶氏は、磐城山技師を排斥したといふその陰險な態度を町民一般から非難されたが、今回又々助役遠藤長誠氏排斥せんとするらしい態度に出でるといふので識者間で眉をひそめてゐる。遠藤助役は「そんな事は初耳です。然し日

## 本年の電話 四百圓と決定

平郵便局に於ける昭和六年度特別開通電話は六月一日から十日まで受付ける事になつたが、架設費は四百圓で前年より三十圓低下した。

## 教育研究會

石城郡内小學校教員は十九日、同村第一小學校で教育研究會を開催した。

## 湯本町で種痘

石城郡湯本町では二十四日、二十六日、二十七日の三日間種痘を行つた。

## 鯉漁に入り 石城七濱活氣づく

二十日萬盛丸外一隻出漁  
石城郡各濱の鯉漁家は鯉漁期休業、二十日、二十一日の兩日に入つたので過般來出漁の準備は従業員慰安陸上競技會等催中であつたが、江名町大字江名す等である。

## 入山炭礦で 貯炭調節

石城郡湯本町入山炭礦で出送炭は二割二分制限断行によつて山石城郡小川村大字上小川字戸渡元貯炭が最近激増したため十九の分教場開校式は二十四日舉行日から三日間これが調節のためである。

## 分教場開校

石城郡湯本町入山炭礦で出送炭は二割二分制限断行によつて山石城郡小川村大字上小川字戸渡元貯炭が最近激増したため十九の分教場開校式は二十四日舉行日から三日間これが調節のためである。

## 日割變更が不徹底なため 掃除未了者が多い

來る二十四日再び掃除  
平町の春期衛生掃除は去る十七日執行の筈であつたが、その前日十六日が大雨であつたため平警察署では平町役場と協議の結果二十四日に延期する事となりその旨發表したが、十六日の雨は午後に至つて霽れたので平町役場では平署に相談せずに十八日執行する事に變更した。然し町民一般にはこの事が徹底しなかつたため十八日に掃除を行つたものは全町の約六割で四割の人々は未了なので平署では残りの人々の掃除日割を二十四日と定め同日掃除を行はせる事になつた。

## 平商業學校 辯論大會

平商業學校新入學生歓迎第十五回辯論大會は十九日同校講堂内で舉行盛會であつた。

## 時計屋を襲つた賊は 東京で自殺した

白銀町の評判美人と 愛の生活を營んだ大工  
十八日平警察署で若い娘が齋藤警部補の取調を受けてゐた。この娘は平町白銀町元平劇場跡附近某旅館の娘伊達あや子(十七假名)といふ評判の浮気女、今日まで數回戀人を見つけては情死騒ぎを演じた事のある娘なので記者は又か好奇心から事情を聞くこと次のやうな事が判つた。

## 小川村地方に 麻疹大流行

石城郡小川村地方に目下麻疹大流行で上小川六名、福岡四名、下小川七名、關場三名、上平三名、柴原二名の患者あり村當局で豫防に腐心中である。

## 捕へて見れば同僚

主業者逮捕の追憶  
昨夏九月三十日夜、四倉松本署長から捜査中の兩人が四倉に居るらしい。其隠れ場所を探し當てたが果して兩名か否か人相が判然せぬから平から首實験と逮捕せぬから平から早急の電話があつたので平では早速一警部補外三名の猛者を抜いて自動車を飛ばせた。それは午後十時過ぎの

協力 二年 鈴木唯一郎  
偉人と雄辯 三年 山田正直  
醒めよ若人 三年 佐々木健夫  
随想 五年 谷口 秀夫  
彼も人も我も亦人も  
三年 富田 二郎  
立て新日本建設の爲めに  
三年 山家 正  
學窓より社會を透視して  
五年 高橋 薫  
文化の潮流に棹して  
四年 澁谷 光哉  
階級闘争と學校教育  
五年 高野 巖  
感想 吉田 校長  
閉會之辭 委員 澁谷 光哉

で悪心を起し二十三日午前一時頃平町搔地小路精幸堂時計店の飾窓硝子を破り時計、貴金屬二百圓分を掴み出して逃走した。その足で小川村の實兄を訪ね時計を預けて金を借り受け東京市に歸戻したのである。然し彼はその後良心の苛責に堪え得ず四月二十五日昇永水を仰いで自殺を遂げた一方小川村の政の實兄は預けた時計を賣るため平町に來り精幸堂時計店に至つて價格を聞いたが、その時計が過般同店で盗まれた品なので驚いてその旨を平署に届け出た。平署で調べあげた結果前記の事情が判明するに至つたものである。

あや子は評判の美人で昨年末平町五丁目大工職酒井政(二二)と戀を語る仲となり本年三月東京府下吉祥寺町に愛の生活を營む事になつた。然し男は大工で豊かな生活が營まれるわけがなかつた。遂に金に窮した政は四月二十二日金策のため平町に戻つて來た、けれども金は出来なかつたので人通りも稀なる時刻であつた。彼等は既に風を喰らつて逃がたか知れぬが、荷物は持出す斗りにしてゐるので刑事二人に見張をさせて置いたから行つて來れ給へ」と松本署長一行四名は犬に吠へられ乍ら隠家を目當てに新町山を上つて行く別荘といふ一軒屋があつて電氣が光つてゐる。四邊は草花と生へ繁つて入口は一本道で抜け道は裏山に通じてゐる。それで高臺であるため成程彼等兩名が隠れる場所としては屈強な所だ。何人が上つて來ても、一眺め

の誠によい別荘である。一行は覺られまいとヘッピリ腰に辿り着いたが、さて見張りに來てる四倉署員の二人が何處に行つたか見當らぬ、聞けば今朝からヨソビテの見張りな相だから先生達ごつへへ行つたのだらう位に考へ乍ら四邊に氣を配つて暫く様子を探つたが人氣がない。戸の隙間から中を見ることが正しく捜査中の兩人の持物に相違ないが何時も彼等は此附近で一行の様子を見て居るじやあるまいかと氣は色々に過る。(續)

漁夫負傷 石城郡四倉町新町漁業家鈴木幸平所有船四十八社丸乗込漁夫同町安藤辰五郎(二二)は十八日午後一時半頃四倉沖合にて作業中同船の捲上機に捲き込まれ顔面に全治二週間を要する重傷を負ひ加療中である。

### ▲火見櫓建設

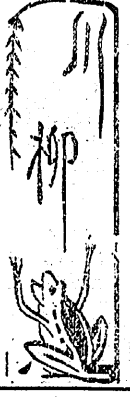
石城郡  
内郷村大字高坂部落消防組では  
四百圓を投じ四十二尺の鐵骨火  
見櫓を建設し十九日落成した。  
尙ほガソリンポンプは二十一日  
竣工に到着本月下旬披露式を行  
ふ。

### 素人の人工受精

石城郡上遠野村字龍蛭田安兵衛  
氏は昨年六月石城郡産馬組合の  
上川技師の教へを受けて同氏所  
有農耕牝馬二頭に對し人工受精  
を試みたところ完全に受胎しこ  
の程二頭とも安産したが、石城  
郡として素人が人工受精に成功  
したのはこれが嚆矢である。

### 酌婦逃走

情夫と駆落か  
平町南町飲食店富久美屋事笹川  
トメは去る十二日前貸白二十五  
圓で群馬縣群馬郡明治村田子キ  
ン(二二)を酌婦に抱えたが、十  
九日逃走されたので調査した處  
同人には茨城縣那珂郡檜澤村片  
岡恭介(二二八)といふ情夫があつ  
たから同人と駆落したものでら  
いと平署に詐欺の告訴をなした



(西) 雜吟集  
川柳反古籠  
題 青葉 久田狂水氏選  
朝露を明るく乙女を摘み  
有頂天  
評晴衣作れと母に言はれて  
ホト、ギヌ青葉の村へ聲をか  
け 東天紅  
評月の彼方へ影は消へた

## 開院 難波醫院

(平町大町) 電話五〇二番

### 醫學博士 難波睦

病室完備  
X光線科  
上田外科醫院  
電話一二九番

## 科外 門專

入院應需

### X光線科

平町南町  
上田外科醫院  
電話一二九番

## 五月の御用意

### 傘日とルソラパ

トルパコ...黒...赤  
に袂い長る躍に風微  
柄と色の傘日たれ取の和調  
と傘なンダモはさる明の月五  
...らが粧化おなトーマス

資白 生薔 堂薇 香花 水椿  
ヤルツ  
十四百電 四平

## 當選値段發表

弊店に於て各位の御希望値段を藝妓を通じて投票により  
募集致しました處左の價格が最大多数でありました

お通し	十	九十四票	次点	五	二十七票
月桂冠	四十	四十七票	次点	四十五	四十四票
ビール	五十	五十九票	次点	四十五	五十二票
サイタ	二十五	八十五票	次点	三十	二十七票
料理	三十	六十一票	次点	二十五	五十五票

五月十五日から右の當選値段を以て御勧め致します。  
何卒お引立の程お願申上げます。

### 御料理 一の井

電話一六七番

## 夏の通學服

当店特製・霜降小倉  
通學服を豊富に取揃へて  
御座います。

小學生用.....¥.45  
同(特製品).....¥1.00  
中學生用.....¥2.00

ふかや洋服店 平二 電203

## 増築披露

開業一週年記念として此度  
バーの増築、室内諸設備整  
ひました。今後尚一層の御  
最負を乞ふ

女給二名至急入用  
四倉本町  
武田肉店  
電話三二番  
牛、豚、鳥肉は年中無休

## 貸家廣告

平町新川町三十番地  
一階 建(商店向き)  
家賃十五圓五十錢

同 十八番地  
商店向き(十五圓)

同 三十番地  
一階 建(勤入向き)  
家賃五圓五十錢

平町新川町  
中野勇吉  
電話一三三番

## 佛國マルソー會社元詰 生葡萄酒

マルソー・フランク・白 1.10  
マルソー・ルージュ 赤

良品にして安價賣行飛ぶが如し

西村屋藥局  
鹽豚販賣  
田町三二三屋

## 耳鼻咽喉科專 氣管食道科門

病室完備：自炊の便あり  
平町南町 大和田醫院  
電話一七〇番

## 高久病院

醫學士 高久 忠  
新瀉醫學士 赤羽 清  
藥劑士 佐竹 菊雄

内科小兒科 外科花柳病科  
耳鼻咽喉科 レントゲン科

## 度量衡計量器 吸入酸素器

關内藥局  
電話四〇番

## 安齊外科醫院

外科 一般外科 內臟外科  
性病科 X光線科

入院隨意(自炊の便あり)  
元赤心堂病院跡  
電話四七五